

県内中小企業(製造業)景況動向

平成29年4月～6月期

全業種で好転が見られるものの、見通しは依然厳しい状況が続く

本会調査結果概要

28年10月～12月



DI 平均値▲22.3

29年1月～3月



DI 平均値▲17.8

29年4月～6月



DI 平均値▲4.1

来期見通



DI 平均値▲6.7

業種別景況動向

食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲10.7	▲16.9	▲10.2	▲17.6

前年同期比の売上高DIは▲6.0、収益性DIは▲14.3で、両方を合わせたDI平均値は▲10.2となり「小雨」模様が続いている。

来期見通しは7.4ポイント下降して▲17.6となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲8.1、収益性DIは▲10.7となった。

また、雇用人員判断DIは14.9、設備操業率DIは▲6.5、設備投資実施率は47.9%となった。

繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲23.2	▲42.4	▲11.1	▲20.0

前年同期比の売上高DIは▲8.9、収益性DIは▲13.3で、両方を合わせたDI平均値は▲11.1となり「小雨」模様に転じている。

来期見通しは8.9ポイント下降して▲20.0となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは3.3、収益性DIは▲4.1となった。

また、雇用人員判断DIは26.1、設備操業率DIは▲4.2、設備投資実施率は22.6%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(同期比)については▲4.1となり、前回調査(29年1-3月期)の▲17.8から13.7ポイント上昇している。来期見通しにおいては、2.6ポイント下降して▲6.7となっている。

売上高DI(同期比)については0.0となり、前回調査から16.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲4.0となっている。

収益性DI(同期比)については▲8.1となり、前回調査から11.4ポイント

上昇している。来期見通しにおいては▲9.3となっている。

業況DI(同期比)については▲

4.1となり、前回調査から12.6ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲7.9となっている。

原材料価格DI(前期比)については

23.4となり、前回調査から0.4ポイント上昇している。

販売価格DI(前期比)については

▲4.5となり、前回調査から3.7ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については

▲6.1となり、前回調査から6.1ポイント上昇し、好転している。

金融機関の態度DI(前期比)につ

いては0.0となり、前回調査から5.0ポイント下降し、硬化している。

設備投資実施率については26.

2%となり、前回調査より0.9ポイント下降している。業種別で最も高い実施率となったのは「食料品」の

47.9%で、目的別では「品質向上」

が27.7%でトップとなった。また、

設備投資計画率については31.2%となった。

設備操業率DI(前期比)については▲9.4となり、前回調査から4.

0ポイント上昇している。

雇用人員判断DI(前期比)については18.0となり、前回調査から3.

6ポイント上昇している。

紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲17.9	▲4.2	16.7	▲6.3
前年同期比の売上高D Iは26.7、収益性D Iは6.7で、両方を合せたD I平均値は16.7となり「薄日」模様に転じている。来期見通しは23.0ポイントの大幅下降で▲6.3となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは31.3、収益性D Iは25.0となった。 また、雇用人員判断D Iは6.2、設備操業率D Iは▲6.3、設備投資実施率は0.0%となった。			

木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲9.1	▲9.1	0.0	▲15.4
前年同期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とともに7.7%で0.0、収益性D Iも「好転」、「悪化」とともに7.7%で0.0で、両方を合せたD I平均値は0.0となり「曇」模様に転じている。来期見通しは15.4ポイント下降して▲15.4となり再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは15.4、収益性D Iは▲7.7となった。また、雇用人員判断D Iは7.7、設備操業率D Iは「上昇」、「下降」とともに7.7%で0.0、設備投資実施率は7.7%となった。			

金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲14.5	1.4	10.0	5.7
前年同期比の売上高D Iは14.3、収益性D Iは5.7で、両方を合せたD I平均値は10.0となり「曇」模様がが続いている。来期見通しは4.3ポイント下降して5.7となり「曇」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは8.6、収益性D Iは▲8.0となった。 また、雇用人員判断D Iは12.0、設備操業率D Iは▲8.0、設備投資実施率は17.1%となった。			

窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲40.6	▲16.9	▲14.0	▲5.9
前年同期比の売上高D Iは▲11.7、収益性D Iは▲16.3で、両方を合せたD I平均値は▲14.0となり「小雨」模様がが続いている。来期見通しは8.1ポイント上昇して▲5.9となり「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲51.1、収益性D Iは▲48.7となった。 また、雇用人員判断D Iは21.1、設備操業率D Iは▲28.2、設備投資実施率は20.9%となった。			

プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
16.7	▲10.0	▲4.6	▲13.6
前年同期比の売上高D Iは▲9.1、収益性D Iは「好転」、「悪化」とともに18.2%で0.0で、両方を合せたD I平均値は▲4.6となり「曇」模様に転じている。来期見通しは9.0ポイント下降して▲13.6となり再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とともに9.1%で0.0、収益性D Iは▲9.1となった。 また、雇用人員判断D Iは9.1、設備操業率D Iは▲9.1、設備投資実施率は45.5%となった。			

機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲30.5	▲26.5	▲2.0	5.8
前年同期比の売上高D Iは5.7、収益性D Iは▲9.6で、両方を合せたD I平均値は▲2.0となり「曇」模様に転じている。来期見通しは7.8ポイント上昇して5.8となり「曇」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とともに30.8%で0.0、収益性D Iは▲14.3となった。 また、雇用人員判断D Iは26.6、設備操業率D Iは▲4.1、設備投資実施率は27.5%となった。			